

七飯町本町町内会 2月の行事ご案内

日	時間	行 事	場 所
15日(土)	8時頃～	町内会資源回収日	各班・指定所
15日(土)	13時～15時	ふれあいサロン 茶話会	文化センター (104号室)
21日(金)	13時30分 ～15時	事務局運営会議	文化センター (104号室)
25日(火)	15時～	ゴミステーション巡回	町内7ヶ所

本年度最後のふれあいサロン茶話会です

15日(土)13:00～15:00、文化センター(104号室)にて実施します。何時も使用していた203号室は、資料室となり、しばらくの間使用出来なくなりましたので、これからは、少し広く、机・椅子なども移動できる104号室の利用が多くなると思います。年度最後のふれあいサロン、豪華に茶菓子等を囲みお茶を飲みながら、屈託のない談話などで笑っちゃいましょう。途中ゲームなども行い町会員との交流を深めあい一緒に楽しみましょう。沢山の参加、期待しています。参加申込書は、別途添付しています。

事務局運営会議に町会員の皆様、是非参加して下さい

21日(金)13時30分～15時、文化センター(104号室)で、事務局運営会議を開催します。内容は、令和6年度残りひと月の行事日程(決算書・監査日・役員会日・議案書作成・総会日)等の確認。次年度の役員指名、班長指名や選挙の件、行事案、予算案、事前準備(予約)行動案などの計画資料作成です。事務局員だけでなく、町会員皆様の御意見やアイデアを戴きまして、これからの町内会運営を進めさせていただきます。是非ご出席して戴きたいと思っています。事務局までご連絡ください。

ゴミ捨てルール 守りましょう

25日(火)15:00～町会7ヶ所のゴミステーション巡回日です。町会の皆さん利用しているステーション、してないステーション一緒に巡回してみませんか？ 昨年12月、先月1月は、3ヶ所(2・3班・7班・8班)利用のゴミステーション、ルール違反が目立ちました、注意しましょう。

七飯町の、ゴミ収集カレンダー・ごみの分け、出し方のチラシが、ない方、見えない方は、事務局まで連絡下さい。チラシ届けます。

● 担い手確保や活性化のヒント

北海道内では都市部への人口集中が進んでおり、札幌、旭川、函館の3市で全体の48・9%を占めている一方、地方では高齢化が進んでおり、これからは都市部でも高齢化の影響が大きくなっていくと考えられています。

① 厚真町豊丘自治会

胆振東部地震の際に、元高校教員が経験を生かして手書きの新聞を作り、給水車の情報や住宅被害状況などを伝えた。退職者は現役時代に培った技能があるため、生かせるような環境を作ることが大切。

② 室蘭市知別テラスタウン自治会

2023年4月に組織された新興住宅街の町内会でLINEアプリを活用した町内会情報の共有化で若い世代の会員獲得に成功し加入率100%達成
閲覧板をなくし、LINEで情報共有
活動の負担感が軽減したことで町内会に対する負のイメージが払拭され、本来に必要なことは皆で助け合おうという意識が高まっている。

③ 岩手県盛岡市三本柳南町内会

やれる範囲で無理せずやる。新たに事業を1つ始める場合には既存の事業2つを止めて負担を軽減している。

④ 福島県郡山市日吉ヶ丘町会

会員との信頼関係をもとに、加入全世帯の家族構成や75歳以上の高齢者の人数など情報を得て共同管理している。
東日本大震災の際の安否確認で活用できた。

住民が求めることと町内会ができることを合致させることが必要で、住民と役員双方の負担軽減を進めることや、活動を進めながらリーダーを養成することも重要です。「活性化」ばかり意識するのではなく、住民や参加者の満足度に重点を置くことが今後町内会を維持継続していくために重要になってきます。

また、地域の学生（小中高校生や大学生）と共同で行事を行うと、将来、地域コミュニティの構成員となる学生達が町内会の存在意義を理解することができます。町内会の維持継続のためには活動を通じて担い手を育てる「次世代育成と継承の視点」が鍵となります。



グループ討議の様子

● 令和5年度の事例 ●

お助け隊がお手伝いします

「ちよこつと困りごとのお手伝い」

伊達市市街第6自治会

伊達市市街第6自治会（214世帯）では、高齢者や障がい者の方の「ちよこつとした困りごと」をお手伝いし、支え合う地域づくりを目指しています。お手伝いする内容は、①大型・粗大ごみの搬出、②家具の移動、③蛍光灯・電球等の交換、④資源物回収、⑤カーテンレールの取付け等の高所作業です。その他にも、物置屋根の雪下ろしや、木の伐採・処理、水道管業者の紹介や宅急便の対応等も行いました。現在、お助け隊の活動は自治会役員が担っています。今後、担い手の拡大が課題となっています。



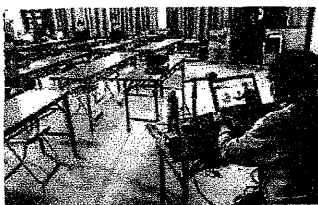
資源物回収のお手伝い

「自主防災講習会」

災害の時にトイレは待ったなし


函館市時任町会

函館市時任町会（1,037世帯）では、災害時の避難所・在宅避難で深刻なトイレ事情をどのように克服するかをクイズ形式で学びました。東日本大震災の被災者に「災害の発生から何時間でトイレに行きたくなったか」と聞いたところ、「9時間以内」が78%の結果でした。災害時におけるトイレ対策の緊急性を改めて知り、防災意識を高めるとともに、災害時の対処を学びました。



クイズ形式で災害について学ぶ

住みよい まちづくり通信



道町連 No. 108

●発行日 令和6年12月24日
●発行 一般社団法人 北海道町内会連合会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地
かでの2.7
☎(011)271-3178 FAX(011)271-3956
E-mail: info@d-choren.or.jp

ホームページ検索 [北海道町内会連合会](#) 検索

昨年10月18日札幌市で、ブロック別町内会活動研究大会が開催されました。安心・安全をめざした住民主体の地域づくりをテーマに、実践報告、講演の内容で行われたのが、道町連のたより(上の囲み)に、集記されている広報誌が届きましたので、見ていただき拓、一部分ですが抜粋して載せています。

実践報告

桂岡町内会の防災避難行動について

小樽市桂岡町内会の池田正総務部長、相澤一郎調査広報部長より小樽市桂岡町内会で取り組んだ「防災ウォーク」についてお話しいただきました。

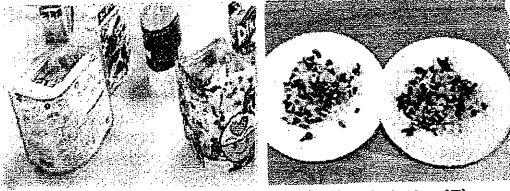
災害時に自宅から避難所まで歩いたり、交通機関の麻痺に伴って帰宅困難になった場合を想定した「防災ウォーク」の取り組みが道外・本州で広まっているという新聞記事を見たことをきっかけに企画しました。

町内会館から指定避難所である約1キロ先の桂岡小学校まで歩き、校舎内で備蓄品や備蓄食料を確認し、避難所が開設された時の状況を市の災害対策室の方からの説明を受けました。

その後、町内会館まで歩いて戻り、備蓄食料のアルファ化米の試食体験をしました。

参加者からは冬期の寒さへの心配や最低限の備蓄品の量など自宅での備えの大切さに気付いたとの声が寄せられました。

また、地域住民の完全安心につながるこの取り組みを継続してほしいとの意見も寄せられ、参加者の防災意識が高まったと報告をいただきました。



水で60分で戻るアルファ化米 (写真はわかめご飯)

実践報告

春日東町連合会の防犯活動について

富良野市春日東町連合会の本間幹事務局長より富良野市春日東町連合会の防犯活動についてお話しいただきました。


昭和48年に春日東町連合会が結成され、昭和56年に防犯と青少年非行防止推進宣言をし、モデル地区に指定されて防犯パトロールの活動を開始しました。その後、平成31年には、小学校登校時の子ども安全パトロールを開始しました。

また、富良野市内では防犯カメラの設置台数は少なく、防犯モデル地区となっており、子ども安全パトロールを実施していることから市の交通安全協会、地域安全協会より街路用防犯カメラ設置の依頼がありました。

防犯カメラの設置は連合会側で負担しており、日常管理もしています。

特殊詐欺被害対策活動では、令和4年に連合会がモデル地区に選定され、対策用の通話録音機を購入したほか、希望者には連合会が窓口となって取り付けなどを行いました。

これまでの活動から令和5年度の北海道犯罪のない安全で安心まちづくり賞を受賞しました。



設置した防犯カメラ

町内会の資源ごみ回収日、ご協力をお願いします

15日(土)は、町内会の資源ごみ回収日です。町内会の数少ない大きな収入源の一つです、燃えないゴミの日・粗大ゴミの日の集配日に、資源となる物が混じっている事が時々見受けられます。面倒かもしれませんが、町内会の資源回収日によりしくお願いいたします。

ふれあいサロン新年会、あつという間の楽しい2時間でした

1月18日、18時から「ちょこっと横丁」で、本町町内会の新年会を行いました。6日前までは、参加者15名でしたがインフルエンザ、不幸、外せない急な用事などで、5名の不参加となり10人出席の新年会です。静かで、おとなしい宴会かな?とと思っていましたが、アルコールが入り、テーブルにはオードブル、焼き鳥、唐揚げ、おでん等々がいろいろ、顧問の開宴乾杯から数分で、あちらこちらで会話や笑い声等で盛り上がっていました。ゲームです、まだ正月、昔よくやった懐かしい宝引きです。最初は、引く順番を決めるクジ皆さん興奮してきました、11本の TENT 紐を用意、1本だけに景品を結びます「いいですか、見て下さいよ」手もとで2・3回ねじります「わかんない」と言いながら、目は真剣です一人目引きます、感触なし残念、二人、三人、四人選んで引いてましたがスカ五人目サッと手に取り引きました景品動いていますゲットしました、Hさん、無の心境ですと語っていました。二回目は、引く順番が逆、クジで10を引いた方からです。景品は、特賞とつまみ賞の二品を付けました、皆さんの前で「よーく見て下さい」と声をかけ、ロープに景品2本を結び付けて、東ねて2・3回とねじりました。最初10番カードのTさん、選んでいます、引きましたが感触無いようです残念、二、三、四、五人目のYさん特に悔しがっていましたが皆さん残念、六人目も残念、これは親のそうどりかなと思ったら七人目のH・T婦人特賞引き当て、皆さんビックリしていました。八人目のKさんが、つまみ賞を引き当て、宝引きゲーム終了。その後も、それぞれ会話も弾み、親睦を深め合っていました。中締めとして、宝引きを引き当てた福を皆様に分け合おうとの声で、Hさんの乾杯で、お開きといたしました。

帰りは、残り物と、Kさん提供のみかんを分けあった袋を手にし、楽しかったね！今年も宜しくとの声で解散。

